

2019 年度推薦入学者選考実施内容

会津大学短期大学部 幼児教育学科

本学科では以下の内容で 2019 年度の選考を実施しましたので、参考にしてください。

記

【小論文】

[出題の内容とねらい]

少子高齢化の中、労働力確保のために国が進めている待機児童を解消することと女性の労働力率が結婚・出産期に当たる年代に一旦低下し、育児が落ち着いた時期に再び上昇するという M 字カーブを解消することについて、幼児教育に携わる者として関連する諸問題についてしっかりとした認識と理解、そして自分の意見を持てるようになる人材となってもらいたい。今後自分自身が出題されている問題に直面するであろうことに対して、現時点での国の状況と国が示す方向性について説明し、自分の意見を述べることができる人材を求めたい。

[採点のポイント]

受験生が将来、教育・保育・福祉の各領域に身を置く実践者として、本学科ではアドミッション・ポリシーとして「子どもを取り巻く環境の変化や諸問題を理解する基礎学力があり、自ら学び考える人」を掲げている。本出題はアドミッション・ポリシーを踏まえ、受験者に対して子どもの保育環境について、自らの考えをまとめ、自分の意見を、具体的な体験や見聞を提示して、論理的にまとめる力を問うているものである。この能力に加え、意欲と真摯な姿勢を持ち得ているかについて、評価する。

【面接】

[面接の形態]

- ・学科の面接員 2 名が受験生 1 人に対して面接を行う個人面接とする。
- ・面接は口頭試問とする。
- ・受験生 1 人あたりの面接時間は、10 分程度とする。
- ・面接の順序は居住地に基づいて順番を割り当てる。各試験会場の進捗に応じ、順番は前後する可能性がある。

[質問の内容とねらい]

本学科のアドミッション・ポリシーに照らしつつ、以下の点に関わる質問を行う。①志望動機、②入学後の学習・生活に対する関心・意欲・態度、③幼稚園教諭、保育士、社会福祉士志望者としての資質・能力④幼児教育や保育、社会福祉の問題に対する関心の度合い⑤地域社会への貢献に関する意欲

[採点のポイント]

採点は、上記の①～⑤について質問に対する答え方・態度・的確さ、主張の論理性・一貫性等と併せて総合的に評価する。評価は以下の点を特に重視するので留意すること。

- a) 幼児教育学科を志望した理由の妥当性
- b) 保育者、社会福祉士養成校の学生として必要な適性があるか
- c) 入学後の学習計画や学生生活に関わる意欲

【調 査 書】

[採点のポイント]

調査書では、学業以外の活動を重視して採点する。一例を挙げると、継続的なボランティア活動、生徒会の役員及び部活動の責任者及び学園祭実行委員等の責任者としての経験、スポーツ・文化活動の表彰等、及びその他主体的に行われる特別な活動並びに幼児教育・保育や福祉に関する資格等である。なお、採点に当たり活動の内容・状況が判然としない場合は加点しない。